

2017年

優楽広報誌

第4号

優楽の チカラ

優楽理念

- 一、私たちは利用者さまの意思を尊重し、その心に寄り添う支援をおこないます。
- 二、私たちは利用者さまが生きがいをもち、笑顔で毎日の生活を過ごすことができるよう支援します。
- 三、私たちは利用者さまがやすらいだ気持ちで住み慣れた地域での暮らしが続けられるよう、地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設としての役割をはたします。

内容

- ・新しい仲間！ドクター田村の紹介
- ・つなげよう！職員の輪！
- ・仲間になりませんか-介護士募集-
- ・認知症サポーター養成講座の報告
- ・職員のちょっとそこまで旅日記
- ・優楽に“うさぎ”が訪問
- ・医療の豆知識「胃ろうってなに？」

新しい仲間が増えました ドクター田村

鹿児島県喜界島で十数年、
へき地医療に携わって来られた、



田村俊秀医師が平成29年2月に就任しました。

『私（80歳）の子供の頃は、テレビやスマホどころか、本も入手し難く、お年寄りの物語を聞くのが唯一の楽しみでした。今、御存命のお年寄り（高齢者）のお若い頃（昭和10〜20年）は、生死をかけた戦争の時代でお年寄りのすさまじい体験談は子供心に深い印象を残しました。阪神大震災で慌て騒ぐ人々にお年寄りが「騒ぐな！アメリカ軍の大爆撃に比べれば何てことはない！」と怒鳴りつけて平然としていました。お年寄りは人生の百科事典です。今の私達が豊かで平穏な暮らしを楽しんでいるのは、お年寄りの方の大変な御苦労のおかげです。感謝してゆっくり“安らいで”いただきましょう。

田村俊秀』

このコーナーでは、優楽で働く仲間をリレー形式で紹介していきます。
第1回目は、神木施設長→運転手→管理栄養士→入所棟介護主任の紹介です。



施設長
神木 照雄

運転手の3人を紹介します。
安全運転を第一に、日々業務に取り組んでくれています。(施設長:神木)



運転手:北浦



運転手:三輪



運転手:今西

(恥ずかしがり屋で…直接実物をご覧ください)

東主任を紹介します。
まじめさが何より素晴らしい、とても話の分かる笑顔の優しい素敵な方です。(山下)



管理栄養士
山下 まみこ

栄養士の山下さんをご紹介します。
明るく気さくで話しやすい人です。
『ミシュラン星3つ!!!いただきました~!!
(夢を見たのでしょ~か??)』(今西・三輪・北浦)

次回、東主任は、だれを紹介してくれるのでしょうか・・・
乞うご期待!



入所棟介護主任
東 康一郎

あなたも優楽の仲間になりませんか 介護職員募集

30代、40代の職員が多く子育て世代も多い職場です。介護の仕事に興味がある方や以前介護の仕事をしていて、もう一度働いてみようと思われる方、お子様がおられる方でも興味がある方は、一度ご連絡下さい。

個性豊かな職員が元気いっぱい働いています！一緒に楽しく働いて下さる、仲間になって下さる方をお待ちしています。



通所介護主任
田中



『認知症サポーター養成講座』 無事終了しました

3月5日(日) 生駒市南コミュニティセンターにて『認知症サポーター養成講座』を開催しました。多くの市民の方にご参加いただき、今回70名の認知症サポーターが生駒市に誕生しました。

講師の森口洋一さんのわかりやすく頼もしいお話であつという間に講座が終了！終了後のアンケートでは「認知症のことを詳しく知らなかったので良い機会になった」「学んだことを地域で生かしていきたい」「もっと詳しい内容を勉強していきたい」など、さまざまな感想をいただきました。

隣近所との関係が希薄になってきているといわれる昨今ですが、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく穏やかに暮らしたい・・・誰もがそんな想いを抱いていることと思います。誰にとっても住みよい町”を実現するために何ができるのか。これからも考え続けていきたいと思

います。

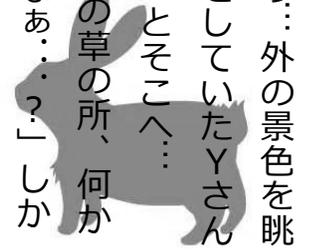


かわいい訪問者



撮影：児島理学療法士
「ナイスショット！」

ある日の昼下がり...外の景色を眺めながらリハビリをしていたYさんと浅野理学療法士。とそこへ...
「ん!?!今、その草の所、何か動いた!イタチかなあ...?」しかし次の瞬間、ピョンピョンピョン!
「あつ!うさぎや!!」と2人は大興奮!
なんと、姿を現したのは、野生の野うさぎ。優楽へ遊びに来てくれました。 「小さかったから子ウサギかも。癒されたで〜」とその時の状況を話してくれたYさん。また、かわいい姿を見せてくれるかもしれませ



職員のちよつと

そこまで旅日記

ある「利用者様との会話の中で「施設の外に出る機会がないので寂しい」という声を聞き、「何か元気になっていただく方法はないだろうか・・・」と思ったことがきっかけで風景写真を撮り始め、入所棟の廊下に掲示しています。

つい先日も食後すぐに「横になりたい・・・」とおっしゃる方が「写真を撮りたい、ベッドから起きるわ」と言ってくださりこちら嬉しくなりました。今では「こんな写真を撮って来て欲しい」とリクエストされる事もありますが、限りあるお休みの中で撮りに行くことは大変ですが... (笑)

いろいろな場所の風景や花の写真を撮っていただき、生きる活力や喜びに繋がっていただけたらいいなと感じています。

入所棟 介護士
松原 猛

彦根城のお堀の桜



大阪城のお堀から京橋方向を望む



医療の豆知識 「胃ろう」ってなに？



胃ろうとは、内視鏡（胃カメラ）を使って「おなかに小さな口」をつくる手術のことです。

つくられたお腹の口を「胃ろう」といいます。取り付けられた器具（チューブ）のことを「胃ろうカテーテル」といいます。

胃ろうは嚥下（飲み込む）機能が低下し、食事の時に食べ物気管に流れこんで誤嚥性肺炎を繰り返したり、認知機能が低下し食べ物を見ても認識できず、栄養状態が悪化した方に、直接胃に栄養を入れる栄養投与の方法です。

胃ろうを造られている方でも、食事や楽しみ程度のおやつを召し上がられている方もおられます。また、注入時間以外は、お風呂やリハビリテーションへの参加など普通の生活を送ることができます。

チューブは1〜6か月毎に定期的な交換が必要で、交換は外来でできます。



優楽でのサポート体制ご案内

健康サポートが充実

胃ろうでの栄養管理、インスリン注射、在宅酸素、バルンカテーテル、ストーマの管理、褥瘡処置等、生活の中での必要な医療サポートを提供します。
※個々のご利用者様の状況によって対応範囲が異なります。

理学療法士・言語聴覚士が対応

発語や嚥下のリハビリにも積極的に取り組んでいます。

ロングショートステイ（1ヶ月未満）のご相談にも対応

編集後記

『優楽のチカラ 第4号』はお楽しみいただけましたでしょうか。今号は、職種を超えてさまざまなスタッフがー丸となって紙面を作りました。これからも、皆様に楽しんで読んでいただけるような紙面づくりを目指していきたくと思います。

さて、表紙の『優楽理念』はご覧いただけましたでしょうか。この理念のもと私たち職員一同は、皆様に必要とされる介護老人保健施設であり続けるために、またご利用者様お一人お一人にご満足いただけるサービスを提供させていただけるよう、日々研鑽して参りたいと思います。



利用相談受付中

生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜優楽
(指定管理者 特定医療法人 仁悠会)

TEL : 0743-76-3300 // FAX : 0743-76-3404

ホームページ : <http://www.ikoma-yuraku.com>

相談受付時間 : 9時~17時

担当者 : 藤尾 宮崎 中溝 飯田